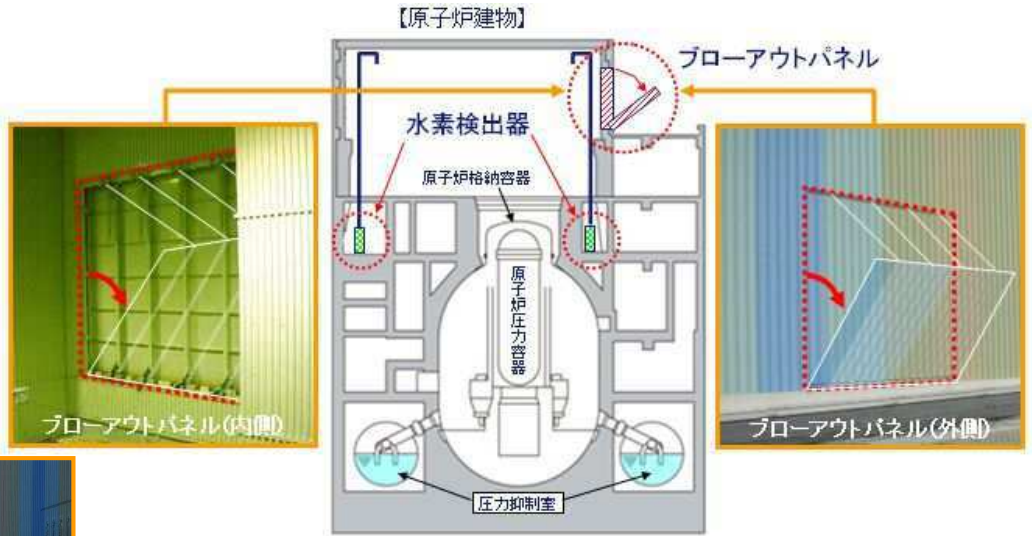


原子炉建物水素爆発防止対策

原子炉建物の水素爆発を防止するために水素検出器及び原子炉建物から水素を放出する装置（既設の「ブローアウトパネル¹」を手動で開放するための装置）を設置しました。〔1, 2, 3号機 完了〕

■ 平成24年9月、1号機のブローアウトパネルの開放装置を設置しました。また、原子炉建物からの水素放出訓練についても計画的に実施しています。



原子炉建物からの水素放出訓練の様子

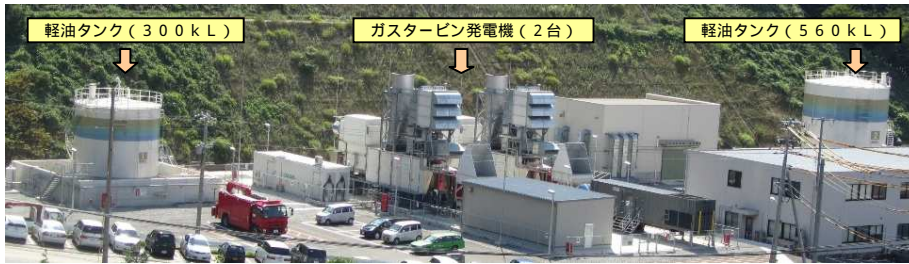
☑ ブローアウトパネルの運用

万が一、炉心損傷等が発生する恐れがある場合、水素が発生する前に、ブローアウトパネルを手動にて開放します。

1 ブローアウトパネル・・・原子炉建物内で急激な圧力上昇が生じた際に開放し、施設や機器の損傷を防止するために設置されている板。

高台（海拔40m）への緊急用発電機の追加設置

非常用ディーゼル発電機のバックアップとして、ガスタービン発電機（1万2千kW級×2台）を発電所構内施設に設置しました。〔1, 2, 3号機 共用 完了〕



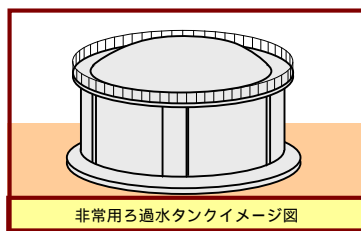
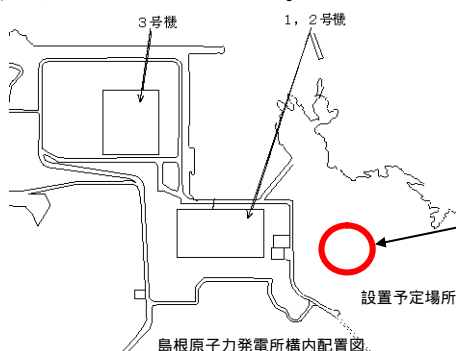
■ 平成24年6月に追加設置した軽油タンク（560kL）について、タンクに付属するポンプ等の試運転が完了し、9月から運用を開始しました。

☑ 軽油タンク2基の運用

2台のガスタービン発電機を約1週間、連続運転することが可能です。

非常用ろ過水タンクの設置

平成24年5月から免震重要棟（仮称）の敷地造成工事を進めていますが、その敷地内に非常用ろ過水タンクを設置することとしました。〔平成26年度内完了予定〕



非常用ろ過水タンクイメージ図

☑ 非常用ろ過水タンクの役割

事故時に原子炉や燃料プールへ注水するための淡水源として、更なる多重性・多様性を持たせます。

〔非常用ろ過水タンク容量〕
・2,500m³/基×4基